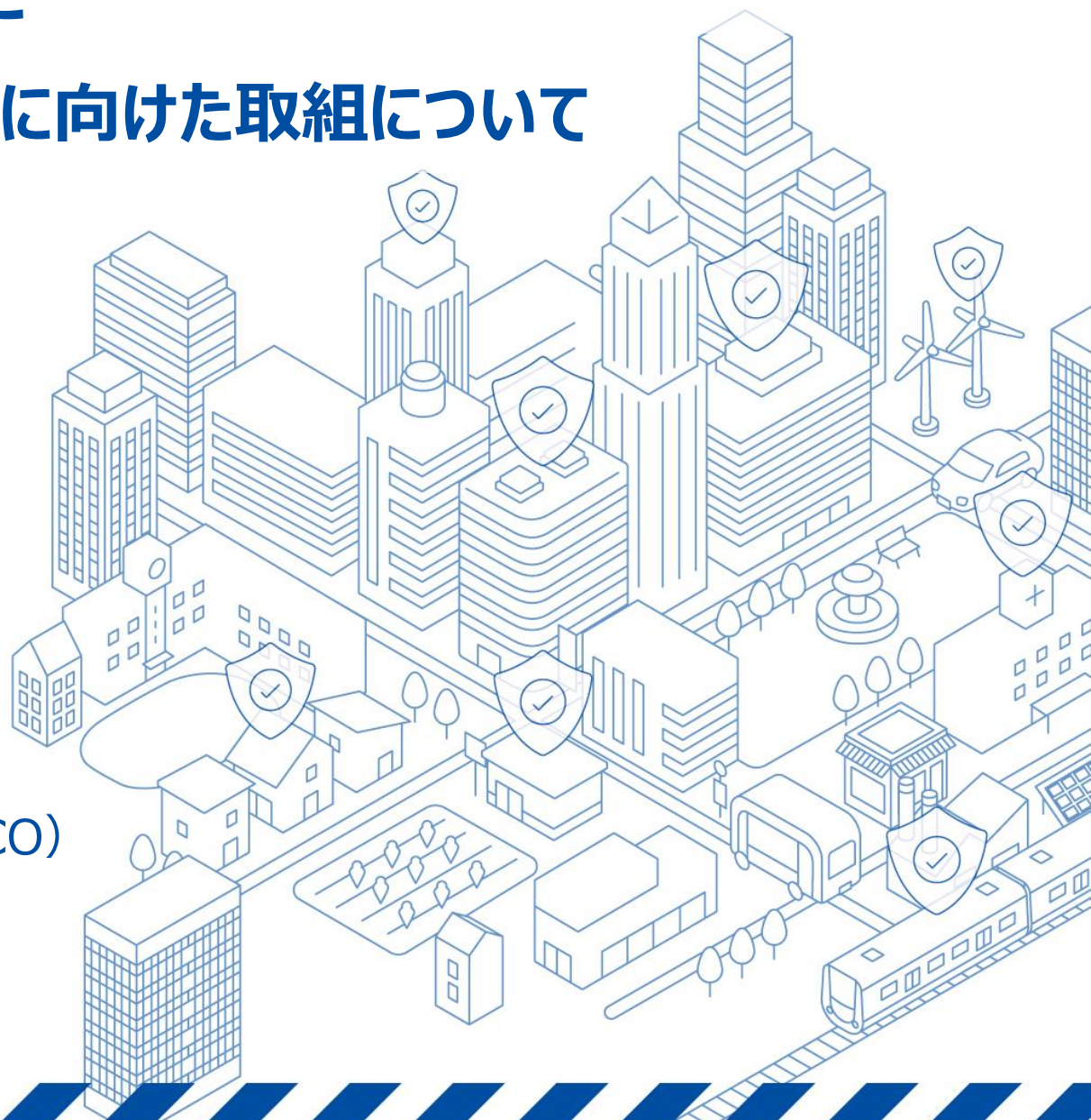


大阪・関西万博の振り返りと 今後の大規模国際イベントに向けた取組について

2026年6月15日

内閣官房 国家サイバー統括室（NCO）



【振り返り】

◆2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

【今後の取組に向けて】

- ◆ 2026年アジア競技大会及びアジアパラ競技大会
- ◆ 2027年国際園芸博覧会

開催概要

名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日
来場者数	約2,902万人（関係者含む。）
公式参加者	158か国・地域、7 国際機関



○ 大阪・関西万博におけるサイバーセキュリティ対策については、万博というイベントの特性に応じた対策が必要。

- 各国政府が参加する国家的イベントであり、要人往来や先端技術の活用など世界的な注目を集める
- 国内外の多様かつ多数のステークホルダーが参画する※ など

※ 日本政府、地方公共団体、外国政府のほか国内外の様々な業種・分野・規模の事業者等が、直接又は間接に万博に関与

必要な対策

- ・ サイバー攻撃の可能性の高まり（要人往来時、地政学的動向等）を予見しつつ、状況に応じた対応が必要
- ・ インシデント発生時に、各主体が迅速かつ適切に連携し対処できる体制を構築する必要
- ・ 様々な多くのシステムが運用されるなど、万博の特性に留意した上で、リスクを適切に把握し、リスクに応じた適切な対策を講ずることが必要
- ・ 脅威インテリジェンスを活用して、脅威を早期に検知し、未然又は被害拡大前に適切な対策を講ずることが必要など

大阪・関西万博において考慮すべき特性

（１）大阪・関西万博の特性

- 大規模国際イベント
- 多様なステークホルダー及び情報システム
- 先端技術の活用

（２）想定される攻撃者

- 知的好奇心・自己顕示を動機とした攻撃者
- 金銭を動機とした攻撃者
- 政治的な主張等を目的とした攻撃者
- 諜報活動等を目的とした攻撃者

（３）想定される攻撃元

- 世界各国からの攻撃
- 多様なステークホルダーによる不正等

（４）対策検討に当たって留意すべき特性

- 有期性のイベント
- 多様な情報システムの構築・運用
- 機微情報の取扱い

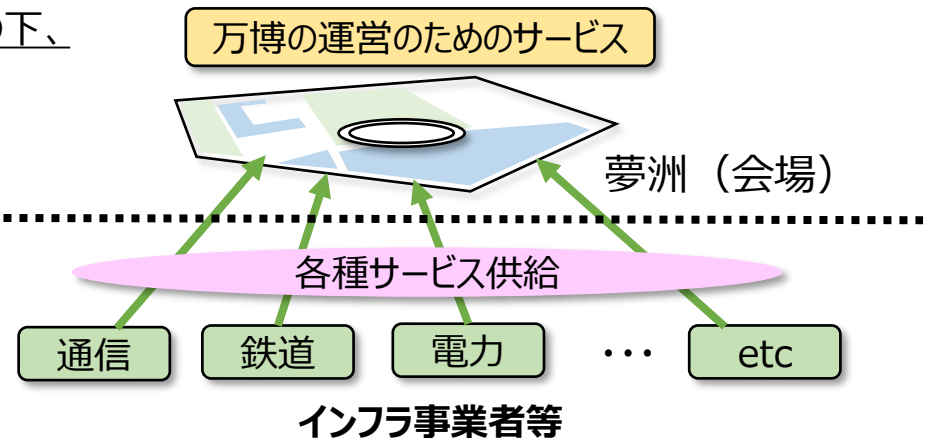
（資料）「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のサイバーセキュリティに関する取組みについて」2025年日本国際博覧会協会（2025年11月）

- 万博特別措置法に基づく「基本方針」及び「サイバーセキュリティ戦略」等を踏まえ、必要な対策を推進。
- 具体的には、
 - ・ 万博会場内については万博の運営主体である**博覧会協会**が中心となり、必要な対策を実施。
 - ・ 万博会場外における交通や電力など、万博の運営に影響を及ぼし得る**インフラ事業者等**における対策については、**NCO**が各事業を所管する**関係省庁等**とも連携しつつ、「**リスクマネジメントの促進**」、「**対処態勢の整備**」を実施。

博覧会協会が、所管省庁である経済産業省の監督の下、**NCO**とも連携しつつ必要な対策を推進



NCOが関係省庁等と連携しつつ対策を推進



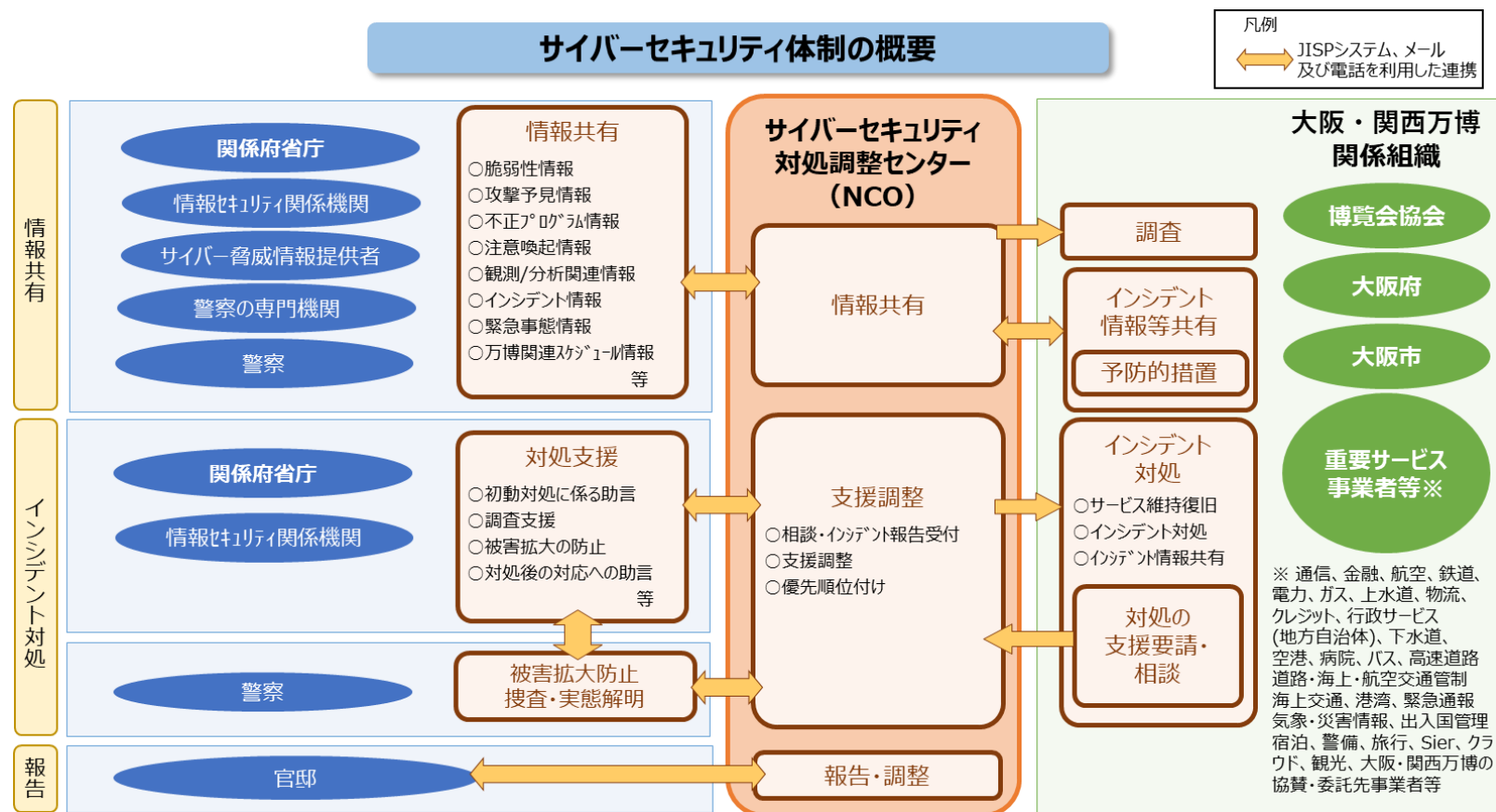
リスクマネジメントの促進 （事前対応のための取組）

- 万博の準備・運営等に影響を及ぼし得るインフラ事業者等に対し、サービスの安全かつ持続的な提供を確保するためのリスクアセスメントを実施。
- セミナーやワークショップの開催、フィードバックなど伴走支援などを実施。

対処態勢の整備 （事案発生時の迅速かつ的確な 対処のための取組）

- 関係府省庁、博覧会協会、大阪府、大阪市、インフラ事業者等が参加し、サイバーセキュリティの脅威や対応に関する情報共有等を行う体制を整備。
- 情報提供を行うとともに、インシデント対処に係る演習・訓練等を実施。

- 2023年1月に体制を立ち上げ、**官民の関係組織の協力**のもと、リスクマネジメント促進、脅威情報／観測情報の提供、演習※や意見交換会等の取組を通じ、**関係組織間の信頼関係づくりを推進**。情報セキュリティ関係機関等の専門機関・関係機関とも迅速かつ的確に連携する体制を構築。（約140の官民の組織が体制に参加）
- **開催期間中は、24時間体制でインシデント発生時に一元的・横断的に連絡調整を行う体制を運用**。
また、**NCO**から夢洲会場内にリエゾンを派遣し、**博覧会協会と緊密に連携し迅速な対応ができる体制を運用**。



※ 演習については、官民連携のためのシステム（JISPシステム）を利用した一斉演習のほか、総務省／情報通信研究機構（NICT）による博覧会協会に対するサイバーセキュリティ人材の育成のためのサイバー防御演習（CIDLE）を実施

○ **体制に参加した組織の積極的な協力、信頼関係をベースとした官民連携の取組により、万博の運営等に大きな影響を及ぼすようなインシデントを発生させることなく終えることができた。**

- ・「リスクマネジメントの促進」：各組織においてリスクの特定・評価・分析による「見える化」を進め、経営的視点から必要な対策や投資の判断に寄与した。
- ・「対処態勢の整備」：NCOから脅威や対策に関する情報提供や注意喚起を行い、各組織が必要な対策や対処を実施した。

演習や事業者間の意見交換の機会の提供等により、関係者間の連携・信頼関係の構築につながった。

- ・ 博覧会協会における対応：

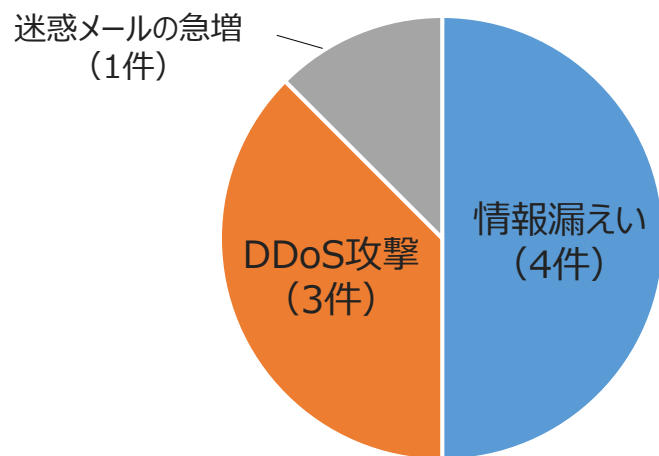
セキュリティ要件やセキュリティガイドラインを整備するとともに、博覧会の会場運営に必要な情報システム全体に対し、ダークサイト・脅威情報の監視などの外形監視（情報監視、アタックサーフェス監視）を実施し、未然又は早期に対策を講じ、情報システムを安全に維持管理した。

（参考）・体制参加組織から提供されたインシデント情報：8件（左図）

・ 認知した脅威情報：524件【内訳 体制全体に共有：401件、対象組織個別に共有：123件（右図）】

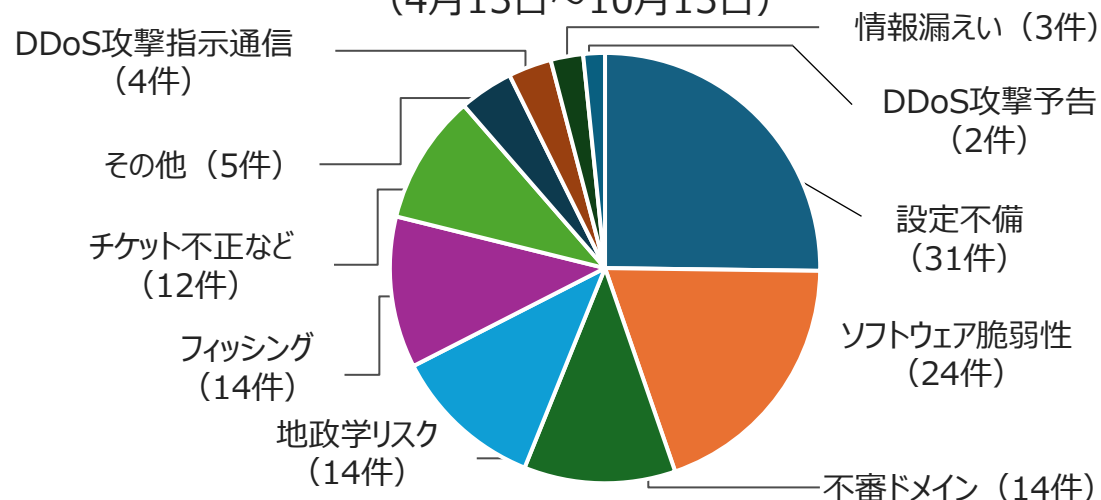
体制参加組織から提供されたインシデント情報

（4月13日～10月13日）



対象組織個別に共有した情報（全123件）

（4月13日～10月13日）



- 万博終了後に体制参加組織からヒアリングを行ったところ、「リスクマネジメントの促進」、「対処態勢の整備」の取組の有用性について、様々な声が寄せられた。
- 万博の準備段階からこうした取組を進めることを通じ、体制参加組織間において官民の垣根を越えた連携・信頼関係の構築が図られたものと考えられる。今後の大規模国際イベントへの対応においても、大阪・関西万博での取組を踏まえて必要な対策を実施していくことが重要。

体制参加組織の声（例）

■ リスクマネジメントの促進

- ・ 前回の大規模国際イベントで実施した「リスク源」の分析手法に加えて、今回は「リスクシナリオ」の手法が提示されたことにより、組織に合った手法を選択することができ、効率的に取り組むことができた。
- ・ 「大阪・関西万博」という国際的な重要イベントであったこと、また、NCOから手法の提供や取組のアナウンスがあったことにより、組織のトップマネジメント層の関心も高まり、平時の点検では発見できなかったシステム上の不備や潜在的リスクを検出することができた。
- ・ 翌年度の計画策定の時期にNCOからのフィードバックが得られることにより、対策の実効性がさらに向上するのではないか。
- ・ NCOによる現場確認を通じて、第三者の目線から物理的対策の状況を改めて見直す良い機会となった。

■ 対処態勢の整備

- ・ 関連組織の横連携が効果的に機能したと感じた。意見交換会は、異なる組織とも話ができて視野が広がり、とても参考になった。
- ・ 官民の距離や温度の差を感じられる機会は多くないため、こうした取組に積極的に参加して連携していくのが良いと思う。
- ・ 官民一体となった環境構築が重要であると思うが、全体をコーディネートする立場の機関や旗振り役のリーダーシップが問われると思う。
- ・ システムを利用したオンラインでの演習の効果は、参加各社の取組む意識によって差が出ると感じた。チームを編成し、会場とオンラインのハイブリッド形式で実施すれば、演習の質がさらに向上するのではないか。

【振り返り】

◆2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

【今後の取組に向けて】

- ◆ 2026年アジア競技大会及びアジアパラ競技大会
- ◆ 2027年国際園芸博覧会

- **大阪・関西万博の成果・取組を踏まえ、我が国で開催が予定される以下の大規模国際イベントにおいても、「リスクマネジメントの促進」、「対処態勢の整備」等による官民連携の取組を推進し、対策に万全を期していく。**
- **このため、イベント前（準備段階）から取組を進め、官民の垣根を越えた信頼関係の構築を図る。**
- **また、各イベントの目的、内容、期間等の特性に応じたサイバーセキュリティ対策を推進していく。**

- **第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）及び第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）**
- **2027年国際園芸博覧会（2027/神奈川・横浜）**

【各イベントの特性に応じた対応】

■ **アジア・アジアパラ競技大会**

- **短期集中で一瞬のサービス停止が競技に影響することを想定した準備運営を推進することが必要 など**

■ **2027年国際園芸博覧会**

- **開幕日や特に警戒を要する場面（要人の往来時等）に注意しながら、終盤に対応が増える傾向になることを想定して、長期継続可能な方法で準備・運営を推進することが必要 など**

【参考】

- ◆ 大阪・関西万博における「リスクマネジメントの促進」に関するNCOの取組
- ◆ 大阪・関西万博における「対処態勢整備」（準備期間）に関するNCOの取組
- ◆ 大阪・関西万博の開催期間中におけるNCOの取組
- ◆ 大阪・関西万博の開催期間中における主なトピック
- ◆ アジア競技大会、アジアパラ競技大会の概要
- ◆ 2027年国際園芸博覧会の概要

◆ガイドライン／実施様式の策定・HP公開

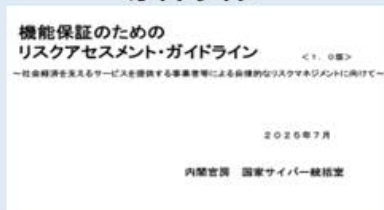
- ・アセスメントのインプット材料として活用可能なリスクシナリオ等を作成・提供。

機能保証のためのリスクアセスメント・ガイドライン

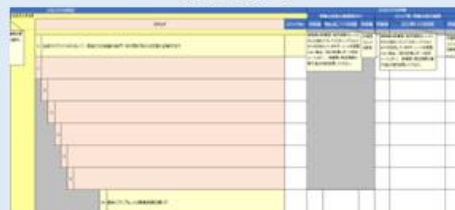
社会経済を支えるサービスを提供する事業者等による自律的なリスクマネジメントの促進に活用されることを目的に、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて作成した実施手順を基に「機能保証のためのリスクアセスメント・ガイドライン」を策定しています。本ガイドラインには、リスクの特定・分析・評価といったリスクアセスメントの主要プロセスの解説資料やリスクアセスメントの作業に利用可能な記入様式等が掲載されており、大規模国際イベント等のほか、平時における情報セキュリティ確保に向けて活用されることを想定しています。

機能保証のためのリスクアセスメント・ガイドライン1.0版 → 社会経済を支えるサービスを提供する事業者等による自律的なリスクマネジメントに向けて、リスク評価資料一式

ガイドライン



実施様式

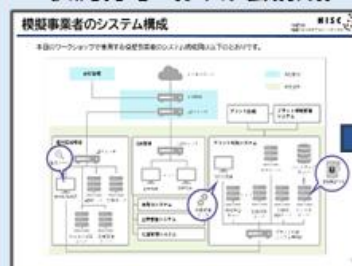


◆勉強会／ワークショップの実施

- ・ガイドラインの考え方を学ぶための勉強会の開催。
- ・架空事業者になりきってリスクアセスメントを体験するワークショップの開催。



状況付与（システム構成）



状況付与（運用・組織環境等）

状況	内容	備考
組織体制	架空事業者の組織体制（図1）を想定し、組織体制に基づき業務の遂行を行うものとする。	
運用体制	架空事業者の運用体制（図2）を想定し、運用体制に基づき業務の遂行を行うものとする。	
セキュリティ体制	架空事業者のセキュリティ体制（図3）を想定し、セキュリティ体制に基づき業務の遂行を行うものとする。	
その他	架空事業者のその他の体制（図4）を想定し、その他の体制に基づき業務の遂行を行うものとする。	

防御カード



攻撃が成立する可能性は？
アセスメント

◆リスクアセスメント実施に対するフィードバック

- ・リスクシナリオを作成し、万博の準備・運営等に影響を及ぼし得るインフラ事業者等に対して、リスクアセスメントの実施を呼びかけ。提出された結果を分析し、事業者にフィードバック。

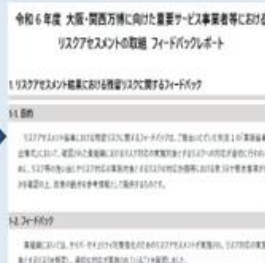
リスクシナリオ



（事業者作業）

攻撃が成立する可能性は？
アセスメント

フィードバック



◆現場確認、ヒアリング

- ・特に重要な事業者は直接、現場確認、ドキュメント閲覧、ヒアリングを通じてセキュリティ評価を実施。フィードバック後には、フォローアップを行いリスク低減に寄与。

設計書類



現場確認



検証結果



- 2023年1月に体制を立ち上げ、脅威情報、観測情報の提供、一斉演習や意見交換会等のイベントを開催等の取組を通じて、万博におけるサイバーセキュリティ確保に必要な対応を実施とともに、関係者間の信頼関係づくりを推進。

2022年度	2023年度		2024年度	
下期	上期	下期	上期	下期
体制運用開始 第1回体制説明会 第1回一斉演習意見交換会	第2回一斉演習意見交換会	第2回体制説明会 第3回一斉演習意見交換会	第4回一斉演習意見交換会	第3回体制説明会 第5回一斉演習意見交換会
・ 脅威情報提供（脆弱性情報、不正プログラム情報、攻撃予見情報など） ・ 観測情報提供（DDoS攻撃、不正通信、Webサイトの脆弱性情報、閲覧障害など） ・ そうだん窓口（インシデント（おそれ含む）への対処支援調整）				
2024/11/14 発信 「必見！攻撃者グループへの効果的な対策」 万博開催まで残り半年となった中で、大阪・関西万博を狙ってくると考えられる攻撃者グループへの対策を整理しました。大阪・関西万博に向けたサイバーセキュリティ対策の見直しとしてご活用ください。	2025/3/11 発信 「万博前や万博期間中に実施しておく効果的な確認事項」 万博開幕に向けてサイバーセキュリティリスクを低減するため、組織のセキュリティ対策の確認にご活用ください。「必ずサイバー攻撃を受ける」「すでに侵入されている」ことを想定した対応をお願いします。	2025/3/11 発信 「警戒を要する日」 開会式 開幕日 ジャパンデー 閉幕日 : 4月12日(土) : 4月13日(日) : 7月3日(木) : 10月13日(月)		

- インシデントの未然防止のため、開幕直前には万博を迎えるに当たってのサイバー攻撃の対策と過去の注意喚起を再掲。
- 期間中は、サイバーセキュリティ状況の共有と安心安全な万博運営に向けた協力をお願いを実施。
- 終了後は、万博用ドメインへの適切な対応のお願いや開催期間中におけるサイバーセキュリティ状況を速報で共有。

2025年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
----	----	----	----	----	----	-----	-----

▼ 4/12 開会式

▼ 7/3 ジャパンデー

▼ 10/13 閉幕

▼ 4/13 開幕

- ・ 脅威情報提供（脆弱性情報、不正プログラム情報、攻撃予見情報など）
- ・ 観測情報提供（DDoS攻撃、不正通信、Webサイトの脆弱性情報、閲覧障害など）
- ・ そうだん窓口（インシデント（おそれ含む）への対処支援調整）

2025/4/10 発信 「4/12開会式、4/13開幕 に向けての注意喚起」

いよいよ万博の開幕まで3日となりました。すでに周知しているとおり、4/12(土)の開会式、4/13(日)の開幕日は警戒を要する日としています。各組織で可能な範囲で注意・警戒いただけますと幸いです。

2025/8/8 発信 「大阪・関西万博のサイバー セキュリティ状況について」

これまでの万博におけるサイバーセキュリティの状況（2025年2月1日～7月14日）を共有するとともに、「万博用に取得したドメインに関する万博終了後の取扱い」についての対応をお願いしました。

2025/10/14 発信 「大阪・関西万博用に取得し たドメインの終了後の取扱い に関するお願い」

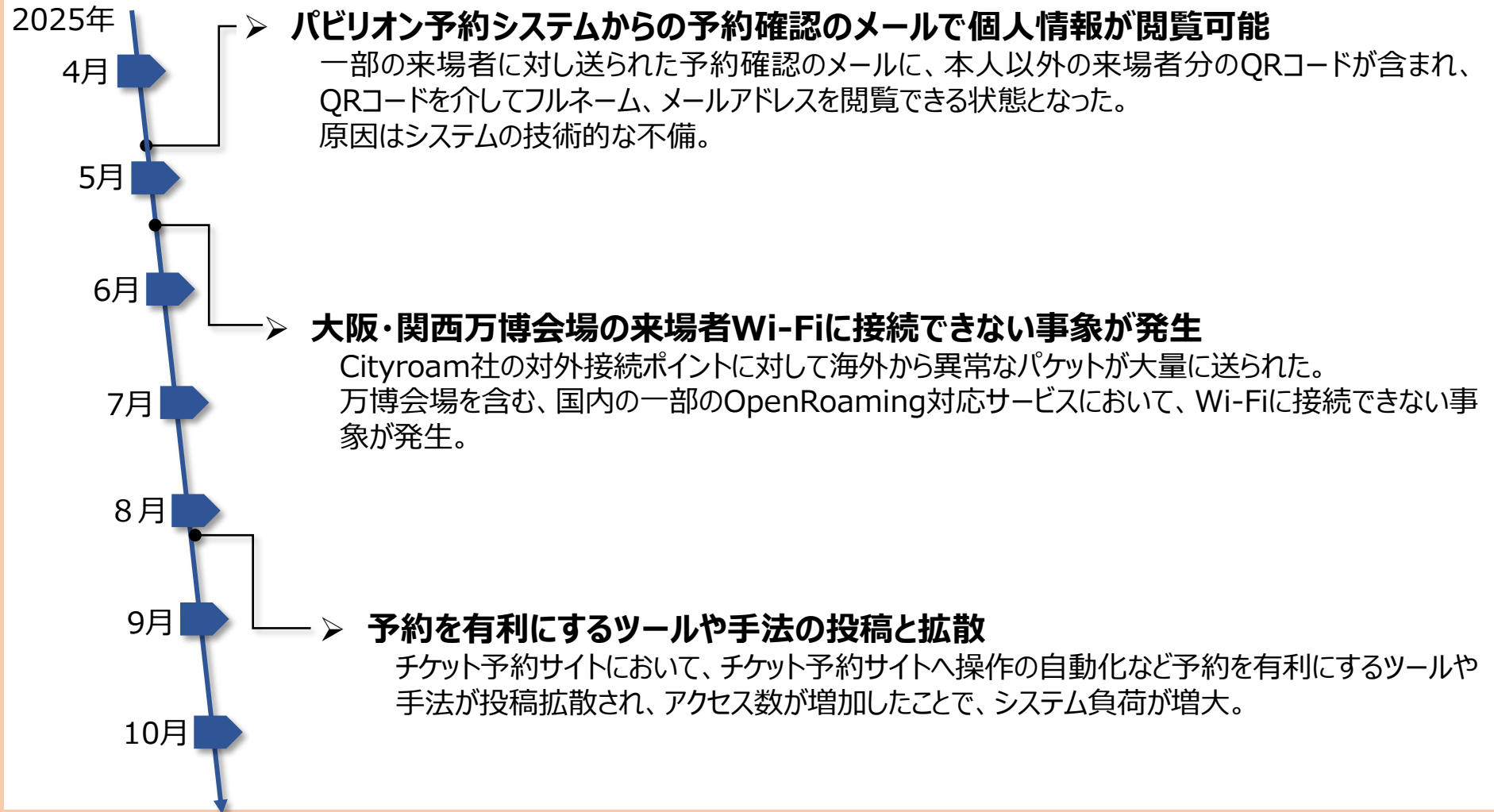
万博用に作成したホームページやWebサイトで使用した「ドメイン」について、万博終了後も悪用の効果が下がるまで保持し続ける、もしくは、保持することをやめる場合でも適切にご対応いただくことを推奨します。

2025/11/26 発信 「大阪・関西万博におけるサイ バーセキュリティの状況（速 報）」

大阪・関西万博におけるサイバーセキュリティに係る取組に御協力を賜り誠にありがとうございました。開催期間におけるサイバーセキュリティの状況についてご報告いたします。

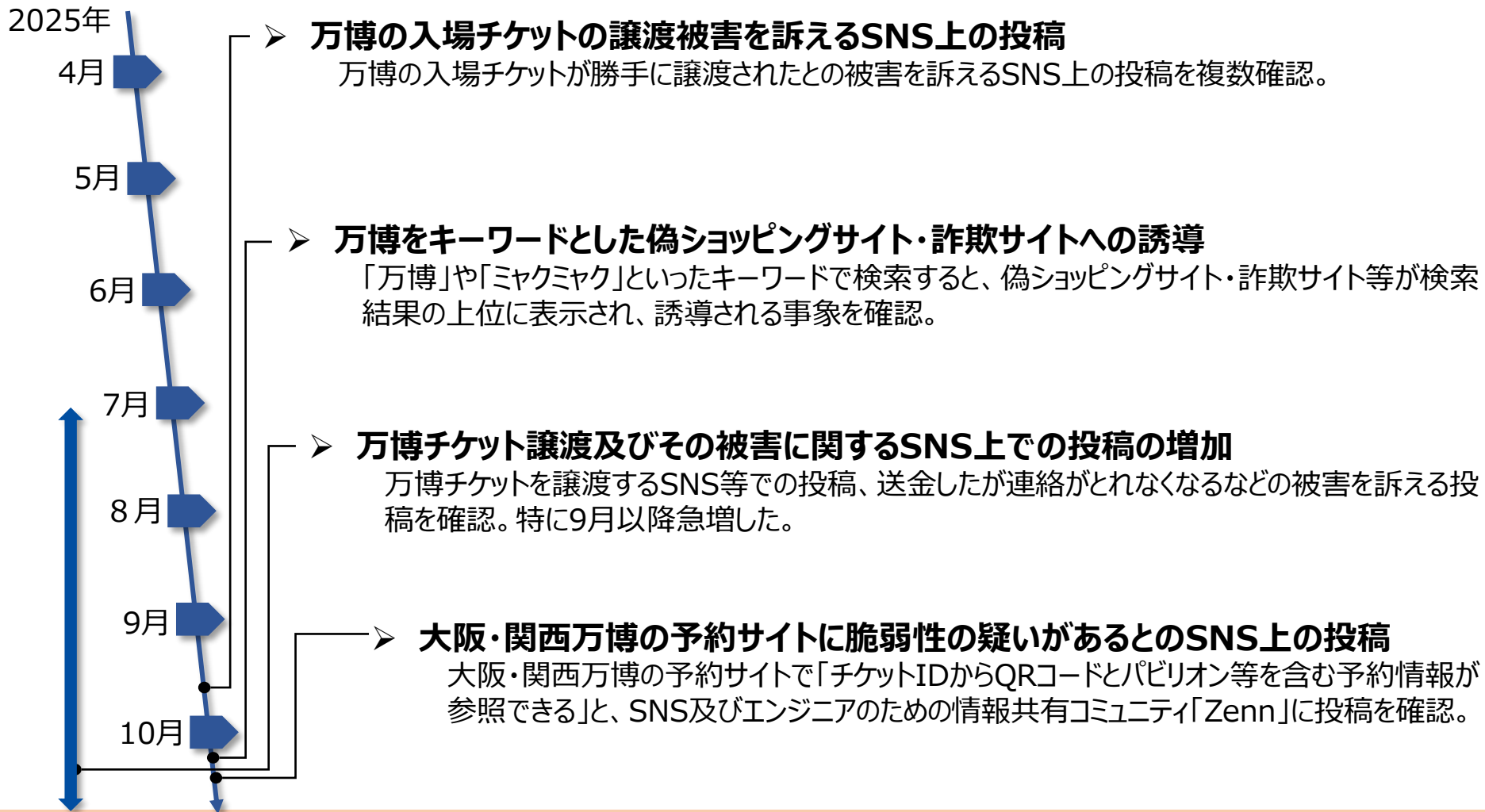
大阪・関西万博の運営等に大きな影響を及ぼすようなインシデントの発生はなかった。

開催期間中の主なトピック



大阪・関西万博の運営等に大きな影響を及ぼすようなインシデントの発生はなかった。

開催期間中の主なトピック



	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
主催者	アジア・オリンピック評議会（OCA）	アジアパラリンピック委員会（APC）
運営組織	（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（AINAGOC）	
開催期間	2026年9月19日（土）～10月4日（日）	2026年10月18日（日）～10月24日（土）
開催都市	愛知県、岐阜県、大阪府、静岡県、東京都	
参加国・地域	アジア45の国と地域	
参加者数	最大15,000人（選手・役員）	3,600人～4,000人程度（選手・役員）
実施競技	43競技	18競技



アジア競技大会 競技会場

（注）アジアパラ競技大会の会場は、
アジア競技大会の会場を中心に
活用

大会コンセプトの一つである「既存施設の活用」に沿って、
愛知県内外の施設を競技会場として活用

2027年国際園芸博覧会の概要

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha）
（神奈川県横浜市旭区・瀬谷区）

開催期間：2027年3月19日～9月26日（6か月間）

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態を含む）

会場建設費：最大417億円

会場運営費：536億円

テーマ：幸せを創る明日の風景

～Scenery of the Future for Happiness～

開催者：（公社）2027年国際園芸博覧会協会

グリーン エクスポ ニーゼロリーナ
GREEN×EXPO 2027（正式略称）

「GREEN」
「植物」、「花」、「緑」を総称する言葉であり、「自然」、「環境にやさしい」という意味



「EXPO」
国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会



- **SDGsの達成やGX（グリーントランスフォーメーション）の実現**に貢献する博覧会として、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場を目指す
- **グリーン社会の実現**に向け、2030年以降も見据えつつ、多様な主体の取組を共有する場を目指す



GREEN×EXPO 2027公式マスコットキャラクター
トゥントゥンク

©Expo 2027